

【オリコンサルが社会実験 新宿駅東口地区の混雑緩和とにぎわい創出へ】

新宿駅東口地区の混雑
緩和とにぎわい創出へ

オリコンサルが社会実験

オリエンタルコンサルタ
ンツは、東京都新宿区の新
宿駅東口地区で荷さばき集
約化と道路空間を活用した
まちのにぎわい創出のため
の社会実験を実施した。

新宿区からの受託事業
で、実験期間は10月14日
11月30日。同社は、新宿駅
東口地区で行う荷さばき車
両の駐車場の適正化と集約化
の取り組みに合わせて、シ
ンボルロード「新宿通り」
に道路空間を活用した仮設
歩道「SHINJUKUS
TREET SEATS」



を設置。来街者の休憩、待
ち合わせ、街のフォトスポ
ットなどの機能を提供し、
にぎわいと歩行者優先空間
の創出に取り組んだ。写真
真。「SHINJUKUS

TREET SEATS」
の維持管理は地元団体、学
識経験者、警察、国、東京
都、新宿区の関係者で構成
する「新宿駅東口地区歩行
者環境改善協議会」が主体
となり、清掃やパンフレッ
トの補充などを行った。

多くの来街者でにぎわう
新宿通りを中心とした地区
では、路上荷さばきが頻繁
に行われ、荷さばき駐車場
所を探索するうろつき車両
や違法路上駐車、時間超過
のパーキングメーター利用
が発生するとともに、歩行
者が休憩に利用できる溜ま
り空間が少なく、歩行者優
先環境を阻害している要
因となっていた。